

MBSJ2021Yokohama 開催報告

2021年12月1日から3日間に渡って開催されたMBSJ2021Yokohamaは、お陰様で盛況のうちに幕を閉じることができました。閉会からまだ2ヶ月余り。それ程遠い昔ではないにも関わらず、誰かから「もう一年経ったよね」と言われたら、思わず肯定してしまうかもしれないくらい昔のことに思えます。会期当日まで、ウイルス感染の状況によっては誰も来場してくれないかもしれない、という不安が強く、一方、閉会後の安堵感、開放感から頭脳が“記憶”を深層にしまい込んだかの如くです。特に一月は、学位審査や修論の審査、卒業研究発表会など恒例行事が目白押し、それに輪をかけて授業、投稿論文、査読、云々と、なすべきことのみをして1日、1週間、1ヶ月が終わる、という有様。一月往ぬる、二月逃げる、三月去る、と申しますが、今年に入ってから今日までの40日間は文字通り、その様な感じで時が流れています。

さて、他愛のない話はこれくらいにして、これ以降は真面目に年会の開催報告をしたいと思えます。まず参加者ですが、事前と当日を合わせて正会員が2,656名、学生会員が1,846名、学部学生が553名、非会員が539名でした。その合計が5,594名で、これに招待者などを含めると総数は6,554名となりました。直近の横浜年会の数値と比較してみますと、第37回が7,565名、第39回が7,665名、第41回が7,519名ということで、約1,000名程度の減少幅はありますが、これは、パンデミックという混沌とした状況を踏まえての我々の想定を大きく上回った結果でした。続いて現地参加の割合ですが、これは我々運営側としても非常に気になるころではありましたが、参加登録時に現地参加予定として申し込まれた方でも当日オンラインに切り替えた、また、その逆のパターンも多々あり、正確な数字を打ち出すことは不可能なのですが、概算で4,000名程度との報告を受けています。私個人の体感としてはもう少し多かった様にも思いますが、それでも単純に計算して総数の約60%の方が会場に来てくださったことになり大変有り難くおもいます。現在、分生の会員は約12,000名。少なくとも私の知る限り、ですが、国内の、この規模レベルの学会の（パンデミック禍の）ハイブリッド開催は今回が初出であり、つまり試験的要素が大きく、今後、様々な会議において上記した情報は活かされていくものと思えます。その意味においてもMBSJ2021Yokohamaの開催の意義は高かったと思えます。ここで改めて、ご参加くださいました会員の、そして非会員の皆様の温かいご支援に深く感謝致します。

続いて商業展示出展およびバイオテクノロジーセミナーに関してですが、パンデミックが収まるのか収まらないのか、仲々先が読めない状況下におきましても出展等を御英断くださった企業、そしてその関係者の方々に深く御礼を申し上げます。展示場は、私も一回り致しましたが、新しい機器や各種キット、ブースの装飾にも様々な工夫が凝らされており、久々に楽しませていただきました。研究室のスタッフや学生も、沢山の土産をラボに持って帰ってきてくれました。発表の機会はもちろん、展示ブースやバイオテクノロジーセミナーを一度も体験することなく卒業してしまう学生がいるのは非常に切なく、私の研究室では今年度は発表がなくとも参加可としましたが、年会後に楽しそうに話してくれる様子を見るにつけ、その甲斐はあったと自負しています。横浜MICEや日薬連からは助成金を賜りました。また、数名の方から個人的な御寄附もいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今回の年会形式である「現地開催を基軸としたオンラインを併設するハイブリッド形式」ですが、*covid-19*のパンデミックがなかったら、少なくとも今年度は実践されなかったと思えます。ハイブリッドの利点は十分理解しており、年会後アンケートでも、有り難かったという声を多数いただきました。参加形式を“選択できる”ということは本当に魅力的で、それを体体験してしまった今、将来的に現地開催オンリーに戻ることはまず無いと思われれます。一方、選択肢が存在するということは、それだけで *luxury*。準備・設備・実施には費用が嵩みます。MBSJ だけではありませんが、会員数が伸び悩む中、会員費による原資の増加は見込めません。法人として投資も無理となると、何をどうすれば良いのか。学会が抱える問題は幾つかありますが、その中でも“年会運営”は重要課題であり方針決定が問われるところです。

何はともあれ、二年半かけて準備したMBSJ2021Yokohamaは終了しました。末尾となりましたが、組織委員・プログラム委員、感染対策アドバイザー、エーイー企画、MBSJ事務局の皆様にご心より感謝致します。誠に有難うございました。

塩見美喜子